

**就労継続支援A型 基本報酬に関する届出書  
及び自己評価結果等の公表に係る届出書**

1 事業所情報

事業所番号	4016701619									
事業所名称	C T F 黒崎									
事業の種別	●	就労継続支援A型	指定年月日	2019	年	7	月	1	日	

2 公表状況

公表の有無	●	有		無	公表年月日	2022	年	4	月	15	日
公表方法 (該当するものに ●)	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)									
		URL	<a href="http://c-t-f.jp/">http://c-t-f.jp/</a>								
		その他 (具体的な方法を記載してください)									
		具体的な方法									

3 基本報酬算定区分 ※以下自動入力。

評価点合計		評価事項	評価内容	スコア
	170点以上	I 労働時間	四時間三十分以上五時間未満	45
	150点以上170点未満	II 生産活動	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
●	105点以上130点未満	III 多様な働き方	合計点が一点以上五点以下である	15
	80点以上105点未満	IV 支援力向上のための取組	合計点が一点以上五点以下である	15
	60点以上80点未満	V 地域連携活動	実施あり	10
	60点未満	スコア合計 (評価点)		125 点
	なし (経過措置対象)			

備考 ・ パソコン等の不具合等で、やむを得ず、一時的にインターネット以外の方法により公表している場合は、会報等を添付した上で、会報等の配布先、公表先を記載の上、現に公表されている箇所の写真を添付し提出してください。また、早急にインターネット上での公表が行われなかった場合、減算となる可能性があります。

- ・ 自己評価結果等の公表にあたっては、別添4 2 - 1の各様式を用いて行ってください。地域貢献活動の報告書の公表については、別添4 2 - 2の様式を使用してください。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	CTF黒崎
住 所	福岡県北九州市八幡西区藤田1丁目7-1
電話番号	093-482-5100

事業所番号	4016701619
管理者名	桜木 章浩
対象年度	令和3年度

(I) 労働時間		45	点
①1日の平均労働時間が7時間以上			
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満			
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満	●		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(II) 生産活動		40	点
①前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上	●		
②前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額以上			
③前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			
④前々年度及び前年度において生産活動収支が利用者に支払う賃金の総額未満			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(III) 多様な働き方（※）		15	点
①免許・資格取得、検定の受検動向に関する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
②利用者を職員として登用する制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
④フレックスタイム制に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑤短時間勤務に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
⑥時差出勤制度に係る労働条件			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	●		
⑧傷病休暇等の取得に関する事項			
就業規則等で定めている			
就業規則等で定めており、前年度の実績がある			
小計（注1）	2		

（注1）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

(IV) 支援力向上（※）		15	点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			
参加した職員が1人以上であった			
参加した職員が半数以上であった	●		
②研修、学会等又は学会誌等において発表			
1回の場合			
2回以上の場合			
③視察・実習の実施又は受け入れ			
どちらか一方のみの取組を行っている			
いずれの取組も行っている			
④販路拡大の商談会等への参加			
1回の場合			
2回以上の場合			
⑤職員の人事評価制度			
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している			
⑥ピアサポーターの配置			
ピアサポーターを職員として配置している			
⑦第三者評価			
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。			
⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証等			
都道府県知事が適当と認めるISOが定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている			
小計（注2）	2		

（注2）8以上：35点、6～7：25点、1～5：15点

（※）任意の5項目を選択すること

(V) 地域連携活動		10	点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等	●		
地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している			

1事例以上ある場合：10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	45
生産活動	5点		20点		25点		40点		40
多様な働き方	0点		15点		25点		35点		15
支援力向上	0点		15点		25点		35点		15
地域連携活動	0点				10点				10

合計	
125	点 / 200点

（※）任意の5項目を選択すること

指定就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表 ( 個別項目 )

I 平均労働時間 45 点

実績として評価する年度		令和 3 年度	
月	延べ労働時間数	延べ利用者数	
4 月	2325 時間	456	人
5 月	2472.5 時間	490	人
6 月	2426 時間	482	人
7 月	2299 時間	447	人
8 月	1904.5 時間	377	人
9 月	1765.5 時間	398	人
10 月	2154 時間	445	人
11 月	2192 時間	444	人
12 月	2262 時間	459	人
1 月	2182.5 時間	443	人
2 月	1966.5 時間	393	人
3 月	2349 時間	467	人
<b>合計</b>	<b>26298.5 時間</b>	<b>5301</b>	<b>人</b>

評価内容		スコア
就労継続支援 A 型等のあった日の属する年度の前年度 ( 以下、「前年度」という ) において、当該就労継続支援 A 型事業所等と雇用契約を締結していた利用者の当該就労継続支援 A 型事業所等における労働時間の合計数を当該利用者の合計数で除して算出した、当該就労継続支援 A 型事業所等における一日当たりの平均労働時間数		
一	七時間以上	80
二	六時間以上七時間未満	70
三	五時間以上六時間未満	55
● 四	四時間三十分以上五時間未満	45
五	四時間以上四時間三十分未満	40
六	三時間以上四時間未満	30
七	二時間以上三時間未満	20
八	二時間未満	5
1 日の平均労働時間数 ( 延べ労働時間数 ÷ 延べ利用者数 )		5.0 時間

II 生産活動 40 点

実績として評価する年度		令和 3 年度及び	令和 2 年度		
		生産活動収入 ( A )	生産活動に係る経費 ( B )	生産活動収支 ( A ) - ( B ) = ( C )	利用者賃金総額 ( D )
令和 3	年度	25,796,595	520,688	25,275,907	23,080,299
令和 2	年度	17,706,158	392,850	17,313,308	17,311,040

※ 経営実態調査時に提出した同年度の「生産活動収支報告書」の内容と一致しているか確認してください。

評価内容		スコア
前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支 ( 生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額 )		
● 一	各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	40
二	前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	25
三	前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賃金の総額以上である	20
四	各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賃金の総額以上でない	5

## Ⅲ 多様な働き方

15 点

就業規則その他これに準ずるものにより、次のイからチまでに掲げる利用者に関する事項を定めていることをそれぞれ一点として算定した合計点(五点を限度とし、前年度において、その算定した点数に係る当該事項を、利用者の希望に基づき講じた場合には、その講じた事項ごとに一点を加算した点数とする。以下この事項において単に「合計点」という。)  
**※任意の5項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入**

イ	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ロ	②利用者を職員として登用する制度	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ハ	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ニ	④フレックスタイム制に係る労働条件 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ホ	⑤短時間勤務に係る労働条件 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ヘ	⑥時差出勤制度に係る労働条件 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
ト	◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	● 2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし
チ	⑧傷病休暇等の取得に関する事項 取組の具体的な内容	
	1	就業規則等で定めている
	2	就業規則等で定めており、前年度の実績がある
	0	実績なし

合計点  点

評価内容	合計点に応じてスコアを判定	スコア
—	合計点が八点以上である	35
二	合計点が六点又は七点である	25
● 三	合計点が一点以上五点以下である	15

## IV 支援力向上のための取組

15 点

前年度 (トに該当する場合にあっては、当該前年度の末日から起算して過去三年間) において、次のイからチまでのうち五つの項目に該当する場合に応じ、それぞれ当該項目に定めるところにより算定した点数 (以下この事項において「合計点」という。) ※任意の 5 項目を選択 ※取組の具体的な内容について記入

イ	◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会 取組の具体的な内容	
	1	参加した職員が 1 人以上であった	◎研修実施回数 (外部 6 回 / 内部 0 回) 対象職員数 4~5 名 研修講師: コンサル委託先 (株)メイクアンサー 田治氏 ①7/28 実施 「記録の付け方」 5 名 ②9/15 実施 「安全で質の高いサービスを提供するために」 5 名 ③11/11 実施 「個別支援計画の立て方」 5 名 以下、民間以外の主催セミナー等 ④4/20 実施 「介護現場における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策研修」 1 名 ⑤11/17-18 実施 「サービス管理責任者・児童発達責任者実践研修」 1 名 ⑥2/10 実施 「苦情解決従事者研修」 2 名
	●	参加した職員が半数以上であった	
	0	実績なし	
◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表 取組の具体的な内容		
ロ	1	1 回の場合	
	2	2 回以上の場合	
	0	実績なし	
ハ	③視察・実習の実施又は受け入れ 取組の具体的な内容		
	1	どちらか一方のみの取組を行っている	
	2	いずれの取組も行っている	
ニ	④販路拡大の商談会等への参加 取組の具体的な内容		
	1	1 回の場合	
	2	2 回以上の場合	
ホ	⑤職員の人事評価制度 取組の具体的な内容		
	2	人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	
	0	実績なし	
ヘ	⑥ピアサポーターの配置 取組の具体的な内容		
	2	ピアサポーターを職員として配置している	
	0	実績なし	
ト	⑦第三者評価 取組の具体的な内容		
	2	過去 3 年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	
	0	実績なし	
チ	⑧ ISO が制定したマネジメント規格等の認証等 取組の具体的な内容		
	2	都道府県知事が適当と認める ISO が定めた規格その他これに準ずるもの認証を受けている	
	0	実績なし	

合計点 2 点

評価内容 合計点に応じてスコアを判定

スコア

	一	合計点が八点以上である	35
	二	合計点が六点又は七点である	25
●	三	合計点が一点以上五点以下である	15

V 地域連携活動

10 点

※「公表方法」、各要件の「有」の合計 4 つに●をつけた場合にのみスコアが表示

評価内容				
前年度において、当該就労継続支援 A 型事業所等が地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業若しくは官公庁等での就労又は生産活動その他の地域社会と連携した活動を行い、当該活動の内容及び当該活動に対する当該事業者又は当該企業若しくは官公庁等の意見を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表していること。				
報告書の作成	●	有	無	※次ページに添付
企業等からの意見等	●	有	無	
公表の有無	●	有	無	
公表方法	●	ホームページに掲載 (アドレスを記載してください)		
		URL	<a href="http://c-t-f.jp/">http://c-t-f.jp/</a>	
		その他 (具体的な方法を記載してください)		
		具体的な方法		

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	北九州中央高等学園
住 所	北九州市戸畑区沢見1丁目3-47
電話番号	093-861-0112

事業所番号	4016701619
管理者名	櫻木 章浩
対象年度	令和3年度

地域連携活動の概要	
<p>&lt;活動内容&gt; C T F 黒崎が請け負っている電子部品の分解・分別品を依頼</p>	<p>&lt;活動の様子&gt; 後日、北九州中央高等学園の菊原先生より写真を受領予定</p>
<p>&lt;目的&gt; 生徒の皆様には支援学校卒業後の進路として、C T F 黒崎を就職先の候補にさせていただくため</p>	
<p>&lt;成果&gt; 分解・分別作業は、組み立て作業よりも障害者の皆様にとってストレスになりやすく、集中しやすい作業のため、手順や業務の覚えが早く、相性も良いと感じる</p>	

連携先の企業等の意見または評価			
北九州中央高等学園より意見書を受領※別紙あり			
連携先企業名	北九州市立特別支援学校北九州中央高等学園	担当者名	菊原先生



# 意見書

受注作業に関する意見書

令和4年 4月 13日

株式会社ユーコースマイルパートナー  
CTF黒崎

代表取締役 金海 基泰 殿

就労継続支援A型事業所「CTF黒崎」より意見を求められた受注作業について、下記のとおり意見を提出します。

## 記

(教育訓練内容)

① 工具の基本操作

工具の細かい使用方法の理解、工具の役割や使用方法（角度・持ち方等）

② 三段ボックスの作成

③ 仕事を受注できることへの感謝

仕事をさせていただいていることを理解し、作業をより丁寧に行うようになった。

④ 精密機器の分解・分別

どの部品も再利用ができるように分解、分別し、考えながら作業することができ  
集中力が向上した。

分解（商品を丁寧に扱わなければならないこと）

分別（細かい部品ごとに分別することで作業場の整理等が身に就いた）

以上のことなどから、実際に製品を扱う作業をさせて頂いたことで就労への意識向上  
や、働くためにどのような力が必要なのか、作業手順の大切さなど様々な力を身に  
付けることが出来ました。

今年度も引き続き、製品の分解・分別作業をお願いしたいと考えております。

以上

当該、意見書をCTF黒崎のホームページで公開することに許可します。

北九州市立特別支援学校  
北九州中央高等学園  
校長 井津 弘